

---

# 雨はお嫌い？

きこりん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

雨はお嫌い？

### 【Zマーク】

Z5941Z

### 【作者名】

きじりん

### 【あらすじ】

雨が降った。一般的に梅雨といわれる時期だからしようがない。ところで、あなたは雨はお好き？ - - - - 時期はズれているけれど、雨に対する色んな人の気持ちを描いてみました。一日の出来事を徒然と書いていきますので…。

## 登場人物紹介（前書き）

はじめまして キーリン です！！

これが初投稿作品となります

まだまだ拙い文章ですので、アドバイスなどいただけたと嬉しいです。

それでは、よろしくお願いします。

## 登場人物紹介

雨が降った。一般的に梅雨と呼ばれる時期だからしじょうがない。  
ところで、あなたは雨の日は好きですか？

時期はずれていればれど、雨に対する色々な視点を描いてみた作品  
です。

### おもな登場人物

#### 【シーン：学校】

木本和哉	高1	男	このシーンでは彼を中心に話が進む
志田幸平	高1	男	能天氣
片木優香	高1	女	ショートヘアのかわいらしい女の子
木月先輩	高2	男	和哉の部活の先輩

#### 【シーン：少女】

黒髪の少女　名前未定、でもそんなに深い意味は無いで  
す。

なお、彼らの名前は実在の人物とは一切関係ありません。  
それでは、きこりん初の作品、のんびりですが進めて行こうと思いまます……。

## 【兼一話】権の口吐き物か? (前編)

せこー記念すべき(?) 第一話です  
今回め【シーン・学校】ですね。

## 【第一話】桜の日は晴れ?

しつとつとした朝だった。

朝日もいつもより少なく、薄暗い。

「雨か。」

まだ温もつの残る布団から起き上がりつつ、今日歩きだな、と思つた。

晴れている日ならば、自転車で時間をかけて登校できるのだが。しかし雨の中歩くのも、不思議と嫌いになれない。

「早く支度しなさい。」

とこへ、お母さんの声。かすかに香るお味噌の匂い。

外が夜のように薄暗くても、ちやんと朝の時間は進んでいた。

「おはよう。チャリで来たからびしょびしょだよお

クラス一能天氣（だと思つ）の志田幸平が髪から水滴を滴らせ、屈託のない笑顔でいつものよつて話しかけてきた。

雨の中、無理やり自転車に乗つてみると、ひつなる。  
すると、服という服が雨を吸つて、重い。あまり気持ちのこゝもの

ではない。

これで一寸過いりますのはさすがにきついだらう。

それでも幸平は笑顔。そういう奴だ。

幸平の笑顔は薄暗い雨の日でも、明るい。

教室は二階。湿度は高い。換気扇のかすかな音を聞きながら窓の外を眺めていると

不意に、田の前が明るくなる。

ドーン

他のクラスからも、周りからも女子のキャーッといつ声が上がる。雷が、近くに落ちたみたいだ。

朝から盛大に雷を鳴らすなんて、空も忙しいな。  
なんて、思っている自分が少しおかしく思える。  
だが、雷は嫌いじやない。薄暗い空に白い光の筋が入るのが見える  
と、わくわくする。

このまま、一斉下校にならないかな。

そんなクラスメートの声とともに

木本和哉は始業のベルを聞いた。

## 【第一話】墨の口はなぜ？（後編）

一 話題から風景描写に苦戦です ^ ^ ;

人物像も固まらないし…

あ、木本君の名前、最後の最後に出ましたね！

とつあえず、続きを書いてこきますのでー！

アドバイスなどありましたら遠慮なくお願ひします^\_^(ーー) <

【兼】【描】 横の口の『世界』？（前書き）

【シーン・少女】です。短いです……  
では、どうも

【第一話】雨の日の『世界』？

雨。五月雨。梅雨。

どれもいい響きだ。

なんたつてしつとつと薄暗い、こんな幻想的な景色は雨の日以外には見られない。

ああ、今日もいい日だ…

部屋の窓からしどとしどと雨の降りしきる外を眺めながら、黒髪の少女は思つ。

彼女の膝の上に黒髪と同じく黒い毛の猫。丸まつてのんびりとした様子だ。

「ねえ、今日は外に出でみたいと思わない？」

「やあ、と猫が鳴く。少女に答えるよひに。イエスかノーかは分からぬ」

少女も外を眺めたまま独り言のよひに続けた。

「じつじつ世間一般とやうでは、雨の日は憂鬱だと決め込んでいるのかじる。

「雨の日だからいつもと違つて『世界』が見えるのこ、ね

うふふ、と微笑む。膝の上では相変わらず猫がくつろいでいた。少女はそして思い立ったようにそつと猫を床におろし、音も無くしかし楽しそうに部屋を出て行った。

## 【第一話】窓の口の『世界』？（後書き）

自分でも何が書きたいのか分からぬ。  
はしゃぐ、このお話をどうに向かってこらのじょい...?

迷走して、登場人物の気持ちだけ述べて、  
終わりそつた予感です。（寧ろそつとうかな）

アドバイス、メッセージ、お待ちしてます^\_^(ーー)^

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5941z/>

---

雨はお嫌い？

2011年12月20日22時48分発行